

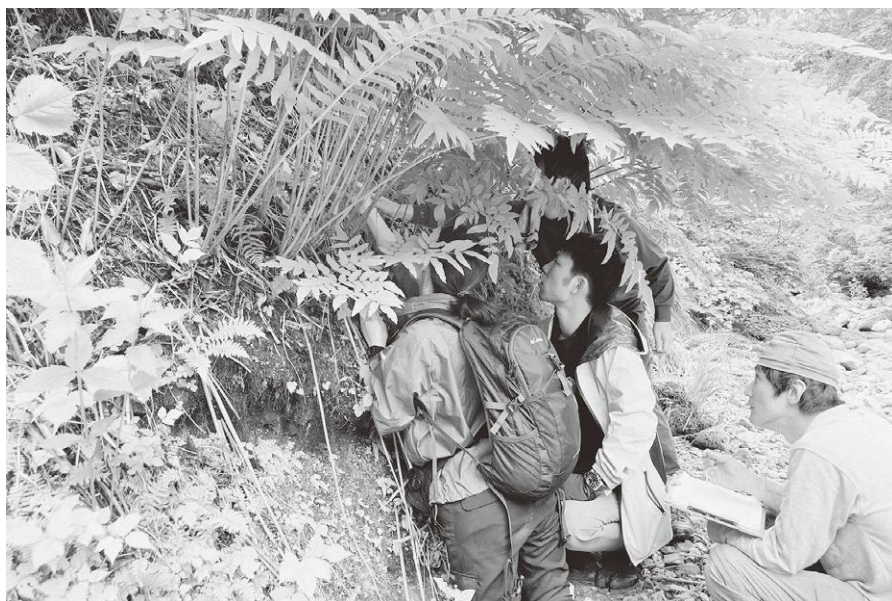
令和3年度「自然首都・只見」 学術調査研究助成金事業の 助成テーマ・研究者グループが決定!

「自然首都・只見」学術調査研究助成金事業は、只見町の自然環境・生物多様性、歴史、民俗、産業に関する調査研究をおこなう研究者に対して助成し、それらの価値を科学的にあきらかにすることで「自然首都・只見」ブランドの向上をめざすものです。さらに、各研究機関との交流の推進、研究成果の活用も期待されます。今年度は審査の結果、下記の3件について助成を行うことが決定しました。今後、助成研究者の方々には新型コロナウイルスの感染拡大防止に十分留意いただきながら調査いただきます。

No.	研究テーマ	助成研究者代表	所属
1	只見ユネスコエコパークおよび周辺域における生態系マップ作成	平山 英毅	東京情報大学
2	只見の古民家の建築的特徴と使用木材種の体系化	井田 秀行	信州大学
3	只見町木ノ根沢におけるゼンマイ個体群の動態と収穫適地の分布	武藤 実緒	横浜国立大学大学院

なお、助成研究者は只見町ブナセンターと連携して調査研究をおこないます。町内で只見町ブナセンターの腕章・ロゴを付けた研究者や車両を見かけましたら、本事業による調査中ですので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

年度内には研究成果発表会を開催し、研究成果を報告する予定です。



横浜国立大学によるゼンマイ調査

【お問合せ】 只見町役場地域創生課ユネスコエコパーク推進係 ☎ 0241-82-5220